

令和6年度 調布市立第六中学校 学校経営計画（学校長 佐伯 あつ子）

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごとともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○「自ら学び、考える生徒」→ 主体的で創造的な思考力を育成する学校 ○「命を大切にする生徒」 → 人権尊重の精神、道徳性を養う学校 ○「何ごとともやりぬく生徒」→ キャリア教育を充実させ、自己実現能力を育成する学校	
ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	本校は明るく伸びやかな生徒が多く、素直で知的好奇心が旺盛であるが故に目的を見誤ると混乱する。学校は、生徒たちの未来を見据えた高い理想を掲げ、「まなびの森」をテーマに個別最適な学びと協働的な学びを一体的に展開し、様々な学びを体験させて、どんな困難にも仲間と共に立ち向かう勇気と知性を身に付けさせることが必要である。
中期的な経営目標	
① 確固たる人権感覚の基盤の上に道徳教育を充実させ、自他の生命・存在を大切にする態度と豊かな心を育成する。 ② 魅力ある授業づくりのための授業改善を継続し、生徒が主体となる学び、協働的な学びを実現して、創造的な思考力を育成する。 ③ 安全指導、包括的性教育、食育を充実させ、食物アレルギーへの理解を深め、体力向上や心身の健康に対する意識啓発を図る。 ④ 特別支援教育の充実を図るとともに、発達段階に応じた系統的・計画的なキャリア教育を通して職業的・社会的自立の能力を育む。 ⑤ 家庭、地域、関係機関との連携の強化と地域学校協働本部の活動の活性化を図り、教育活動への理解・協力を推進する。 人・組 OJT を活用した人材育成と組織的な指導体制を確立し、ミドルリーダー、管理職候補者の育成を図る。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
① 豊かな心(徳)	② 確かな学力(知)	③ 健やかな体(体)
(1) 取組目標（具体的方策） ① 人権教育、道徳教育の全体計画及び年間指導計画の策定・改善（通年）、道徳教育推進教師を中心とした道徳授業の充実（年 35 回）人権課題への取組（各学年3課題以上） ② 全教員による巡回指導（毎朝・通年）、六中いじめ防止対策基本方針（4月）、SNS学校ルール（4月）、生活アンケートの実施（毎月）、「SOS の出し方」授業（7月）、不登校を未然に防ぐ支援(SC, サポートルームの活用)	(1) 取組目標（具体的方策） ① 調布市研究推進校として研修の充実(授業改善、ICT, 特別支援教育等)、特別支援の視点での環境・授業づくり、生徒による授業評価（全教科3回）、学校公開（通年）と保護者アンケートによる改善 ② 少人数・習熟度別指導（1～3年数学・英語）、読書活動（毎日）、読書週間（年2回）、数学ステップアップ教室（10 回）、漢検・英検（3回）、英語検定直前自習サポート（6回）	(1) 取組目標（具体的方策） ① 体力向上に向けた体育の授業および体育的行事での個別の目標の設定（随時）、包括的性教育（年3回）。実りある部活動指導（随時） ② 防煙講演会（3月）、第3学年薬物乱用防止教室（3月）、食育（通年、給食便り）、食物アレルギー事故防止研修会、SOS の出し方授業・自殺防止授業（1 回）いのちの安全教育の充実（1 回）
(2) 成果目標（数値目標） ① 生徒・保護者による学校評価（年2回）で肯定的評価 80%以上 ② あいさつ運動、六中いじめ防止対策基本方針に基づくいじめの未然防止、早期発見、早期対応。また、問題行動について、生徒・保護者による学校評価（年2回）で肯定的評価 80%以上	(2) 成果目標（数値目標） ① 学習満足度について、生徒による授業評価で肯定的評価 80%以上 ② 学校公開(通年)とその都度の保護者アンケートで肯定的評価 80%以上。数学ステップアップ教室、英語検定直前自習サポート参加者による肯定的評価80%以上	(2) 成果目標（数値目標） ① 生徒による授業評価で肯定的評価80%以上 ② 講演会後の生徒による授業評価（感想文等）で肯定的評価 80%以上。また、参加した保護者アンケートで肯定的評価 80%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
④ キャリア教育の充実	⑤ 地域学校協働本部との連携	⑥
(1) 取組目標（具体的方策） ① 3年間を見通したキャリア教育計画（4月）、本校のキャリア教育についての周知（4月保護者会）、六中タイムを中心としたキャリア教育の取組、主権者教育（1 回）消費者教育（1 回） ② 進路指導部会の充実（年20回）	(1) 取組目標（具体的方策） ① 地域学校協働本部との連携協力（通年）、数学ステップアップ教室（10 回）、英語検定直前自習サポート（6回）、コミュニティスクール開始に向けた準備	(1) 取組目標（具体的方策） ①
(2) 成果目標（数値目標） ① 参加した生徒による授業評価（感想文等）で肯定的評価 80%以上 ②教員の自己評価で肯定的評価80%以上	(2) 成果目標（数値目標） ① 参加した生徒評価で肯定的評価80%以上、教員の自己評価で肯定的評価80%以上	② (2) 成果目標（数値目標） ① ②

人材育成・組織運営
① 全教員に「資質の向上に関する指標」を示し、自己申告の面接時に各自のキャリアプランを踏まえた到達目標を立てさせる。（年度当初） ② 全校でOJT 体制を構築して相互育成の雰囲気を作るとともに、主任選考や外部研修を促し、ミドルリーダーの育成を図る。（通年） 管理職候補者を育成するために、業務の改善を図り、学校経営への興味と希望がもてるような言動を意識し、随時面談を行う。（通年）

